



老鳥菴評批言之辨

全

1冊
600
48



門 4
號 100
卷 48

目錄為二席仙借百員卷中

老翁卷評批言如辨

白鹿洞の市人

慢信

花よりあまの友とらうらむうらむとてあはれに
さうらの花よりあまの友とらうらむうらむとてあはれに
さうらの花よりあまの友とらうらむうらむとてあはれに
さうらの花よりあまの友とらうらむうらむとてあはれに
さうらの花よりあまの友とらうらむうらむとてあはれに
さうらの花よりあまの友とらうらむうらむとてあはれに
さうらの花よりあまの友とらうらむうらむとてあはれに
さうらの花よりあまの友とらうらむうらむとてあはれに
さうらの花よりあまの友とらうらむうらむとてあはれに
さうらの花よりあまの友とらうらむうらむとてあはれに



二

丁

着る物子いふもさうくさしむるもまはれぬ
あはれおのこいしむもさうくさしむるもまはれぬ
えんあ人らぬうーあるあしこりもさうく人の
さういふもさうくさしむるもまはれぬ

寛政九年二月廿八日

田所介の

市人 志人



海老原兼乃某の枝折筆す永より

枝折筆すこと句作て
沖之の格調すあはれ

こいさあはれあさきんんえさうり筆すあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
初学の人もあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

Handwritten text in cursive script, likely a continuation of the previous page.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

るしといふに依りてはいふ所の事なれば人

吹折れく孤寢方孤精の生るの月

孤 去る月のやうな也
おし寝方あり孤を指す

車一のこゝろに吹折れくといふに依りては

理原のこゝろに吹折れくといふに依りては

おきとては理原に和名女子寢夫和名夜無字釋名

云無事曰寢古禎反 寢和名夜無字釋名云無事

曰寢が玉篇云寢方或曰寢とありては

お折れくといふにあひては古人樹木の枝

とて人間的の事ありてはといふに依りては

あひと素娥の艶美あると月元の妖とて

あると宋人小説に紅裳女子梅元の精とあり

百川子海の雀玄微のやち子泉元の精與人

ありては素娥といふに依りては

追考

莊子曰彼至人者屏精神
無形而耳腹無行有之鄉
云々

又曰魏姑射山有神人居焉
肌膚若冰雪綽約若處子不食五穀
吹凡飲露乘風氣御龍而遊四海之外云々

魏姑射山と云々
魏姑射山と云々
魏姑射山と云々
魏姑射山と云々
魏姑射山と云々

魏姑射山の山と云々
魏姑射山の山と云々
魏姑射山の山と云々
魏姑射山の山と云々
魏姑射山の山と云々

とのわらうまふられはるの批をいづくもは

れをたがふは強さ。説も出るとのし魏姑射

と大内の子を称しこのマはるはのなと云ふは

と云ふ魏姑射と山の名し魏姑射山又列姑

射山ともいひく仙人の居る所と云ふは

海の中はと云ふはと大明一統志に姑

射山と云ふ平陽城西五十五里と云ふは

りて金山は修徳大内の通称ともいふは

仙洞と云ふは魏姑射の山と云ふは

魏姑射の山と云ふは

と云ふは魏姑射の山と云ふは

と云ふは魏姑射の山と云ふは

魏姑射の山と云ふは

と云ふは魏姑射の山と云ふは

と云ふは魏姑射の山と云ふは

魏姑射の山と云ふは

是は終つねにひとり人のあはれ目も凡そ死す
けしあめえのかあ〜 注亦十人皆睡とあ
本邦牛代のおきよりき〜 一夕の巧行と
ま〜ひふめえはぬ〜 一十〜 一〜 一〜
あ〜ひ又ふ〜 一〜 一〜 一〜 一〜

淺香系水石玉海酒仙

新詩玉海酒仙

二ハ花子のちたつ〜 新詩玉海酒仙

しきと〜 ちるまきり 解つ〜 一〜 一〜

高小老鳥子無得道人

ち〜 一〜 一〜 一〜 一〜 一〜 一〜
ち〜 一〜 一〜 一〜 一〜 一〜 一〜
一〜 一〜 一〜 一〜 一〜 一〜 一〜
一〜 一〜 一〜 一〜 一〜 一〜 一〜
道人〜 一〜 一〜 一〜 一〜 一〜 一〜

あひのこころをわすれしは
あひのこころをわすれしは
あひのこころをわすれしは
あひのこころをわすれしは
あひのこころをわすれしは
あひのこころをわすれしは
あひのこころをわすれしは
あひのこころをわすれしは
あひのこころをわすれしは
あひのこころをわすれしは

あひのこころをわすれしは

あひのこころをわすれしは

あひのこころをわすれしは

あひのこころをわすれしは

あひのこころをわすれしは

あひのこころをわすれしは

あひのこころをわすれしは

あひのこころをわすれしは

あひのこころをわすれしは

あひのこころをわすれしは

あひのこころをわすれしは

子と裸父はさうらうと音丹 利牛

うねのあのおうとうひやうをさう 一白の田が月

四種時あう子ハも裸の父もぬぐ

一うあうはさうしうさうさうさうさうさうさう

さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

あうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

はぬさうさうさうさうさうさうさうさうさう

水俗能さうさうさうさうさうさうさうさうさう

PTさうさうさうさうさうさうさうさうさう

うさうさうさうさうさうさうさうさうさう

~~~~~

○

あうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

おさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

免のさうさうさうさうさうさうさうさうさう

皮やせさうさうさうさうさうさうさうさうさう

さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう



たふたふとやゆふふふのあふふふ  
ちあふふのいしあふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふふふふ  
己の別子ふふふふふふふふふふふ  
行ふふふふふふふふふふふふふふ  
多ふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふ

二月二十八日





